

平成 27 年度第 2 回日本薬科大学生涯教育研修会（18 回）開催案内

主催：日本薬科大学
共催：（一社）埼玉県薬剤師会
日本薬科大学同窓会

次 第

日時 平成 28 年 1 月 23 日（土）16 時 00 分～17 時 30 分
場所 日本薬科大学 講義棟 3 723 講義室（埼玉県北足立郡伊奈町小室 10281）
演題 「薬局と病院の連携から医薬品適正使用・育薬を推進」
演者 澤田 康文
東京大学大学院薬学研究科 育薬学講座 教授

講演内容

新規抗がん剤の開発、経口抗菌薬や制吐療法などの支持療法の進展に伴い、2002 年度の診療報酬改訂において外来化学療法加算が新設された。その後も算定要件が緩和されるなど、国の政策としても外来化学療法が推進されている。しかし、外来化学療法の一翼を担うべき地域薬局では、処方箋を持参した患者について、告知の有無、治療計画（使用薬剤、投与期間、休薬情報などを含む）、化学療法のレジメン、検査値（腎・肝機能を含む全て）、支持療法や適応外使用の説明など多くの情報が不足しているのが現状である。そのため、地域薬局は処方箋に記載されている内容のみからがん治療の全容を把握せざるをえず、病院と同じように適正な化学療法に寄与することは極めて困難である。

このような現状においては、病院薬剤師と地域薬局薬剤師との連携が必然的に重要となり、情報共有のための様々な方策がとられている。インターネットによるレジメン公開、投与計画書の FAX による共有、化学療法パスポートや化学療法治療カードの作成と活用、お薬手帳の活用、処方箋への臨床検査値の記載など各地域における多種多様な取り組みが報告されている。本講演ではこれらの実際例を紹介するとともに問題点について考えてみたい。

参加費 無料
申込み方法 下記申込書を印刷、記載の上、FAX にてお申し込みください。
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 10281
日本薬科大学 生涯教育研修会事務局
森本一洋 中島孝則
TEL：048-721-1155 FAX：048-721-6996

なお、参加者には日本薬剤師研修センター研修受講シール 1 単位を配布致します。

平成 27 年度第 2 回日本薬科大学生涯教育研修会 参加申込書

受講者氏名
勤務先
TEL